

# 日本航空健康保険組合様



## ■ 健康ご相談例 & 回答例 ■ 2013年3月

### ご相談事例 : マダニのご相談

・ご相談者: ゆり みきおさま(仮名)からのご相談

朝晩の気温も上がり、日毎に春の空気を感じる今日この頃です。  
チラホラと春の花も咲き始め、桜や木々の芽吹きが待ち遠しくなってきました。  
暖かくなると外に出る機会もふえ、子供たちには屋外で元気に走り回って  
ほしい季節ですが、最近のニュースで気がかりなことを聞きました。

ダニの中でも「マダニ」にかまれると死亡することもあると聞いた  
のですが、もともと小学生の息子は幼児期に「ダニアレルギー」と  
言われたこともあり、元気盛りの子供を持つ親としては大変心配です。  
やはり、子供や高齢者がかまれた場合は、死亡とか重篤なこと  
になりやすいのでしょうか？

予防できることや、咬まれた場合にどのようにしたら良いのか  
教えて頂けるとありがたいのですが。

本当かどうかわかりませんが、虫が寄って来やすい衣類の色があると聞いた  
ことがあります。

このダニの場合、嫌う色味とか匂いとかあるのでしょうか？



・回答者：看護師がお答えしました

最近「マダニ」は話題になっていますね。

このダニは全国に生息していますが、お子様がアレルギーを指摘された「イエダニ」とは種類が違うこと、咬み口も違うことを覚えておいてください。

活動は、春から秋にかけての暖かい時期です。

予防としては、長袖の衣類で肌の露出を出来るだけ少なくすること、靴下を着用するくらいでしょうか。

マダニはイエダニと異なり家屋に生息しませんが、屋外や山中には国内では地域に関係なく生息している可能性はあります。

屋外や山中に出かける時は、長袖、靴下の準備と虫除けスプレーである程度予防できると思いますが、マダニが嫌いな色味や匂いがあるとの報告はありません。

咬まれた時は、イエダニのような連なった咬み口ではなく、肌にほくろのようにくっついていることが多いようです。

時には、10日間くらい肌にくっついて血液を吸い続けて大きくなり、周りから「ほくろ」と言われて気づくことも有るようです。

気づいた時は肌から無理にとろうとせず、皮膚科や外科に受診して、「切開」して取り除いてもらってください。切除後に薬を出されることもありますので、医師の指示通り薬を使ってください。

医療機関で切開するのは無理に取ろうとすると咬み口の皮膚に「マダニ」の一部が残ってしまうことを避けるためです。

高齢者や子供が咬まれやすいとか、成人が咬まれやすいと言った報告は無く、かまれるのは年齢に関係なさそうです。

咬まれた場合の症状は個人差がありますが、イエダニは「かゆみ」や「連なった咬み口」が特徴です。「マダニ」の場合は「かゆみ」は軽いのですが「痛み」を伴うことがあります。

屋外で過ごす場合は、長袖の衣類と靴下を忘れないようにしましょう。

